



大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第76号
2022年2月3日



【瀬戸内町事務職員会紹介】

奄美大島の南端の町、瀬戸内町から学校事務の様子をお伝えします(*^▽^*)

“離島の離島”を抱えている瀬戸内町……奄美本島側、加計呂麻島、請島、与路島それぞれに学校があり、町内8名いる事務職員のうち、6名が兼務校を持っています。4校兼務(小中併設含む)や、海を隔てて学校を兼務している事務職員もいます~(;O;) (本務校・兼務校・共同実施としての兼務発令を合わせると、19校兼務になります!)

支援室と研修会は、同じ8名のメンバーとなっており、基本的に支援室が月2回(午前)、研修会は月1回(支援室開催日の午後)、いずれも古仁屋小内にある支援室用の執務室で実施しております。加計呂麻島や与路島在住の職員は海を渡っての参加となります~;

支援室では、今年度手当認定の際のチェックリストの改定版を作成し、また、短い時間で効率的に回覧ができるように、審査を二人一組で行っています。初任者がメンバーの半数を占めていることもあり、手当認定時の不備をなくするため昨年度から準備して実施にこぎつけました。

研修会の方では、毎回“一人一事例”というコーナーを設定し、それぞれが行った業務で共通理解が必要と思われることの報告や、業務を進める上で困っていることを発表しています。瀬戸内町は学校規模が異なり、抱えている課題も違うので、悩みを共有し、知識を蓄積する機会になっています。しばしば話が脱線したり各々が好き勝手に話し始めたり、収集がつかなくなる場面もありますが……(笑)初任者の先生方も着実に成長しており、最近では会の進行をしたり、研修の内容を計画したりと、大変頼もしくなっております。

様々な課題を抱えている瀬戸内町ですが、今後も事務職員が協力して各校の学校運営に寄与できるように頑張ります!!



定年退職される先生からご挨拶をいただきました。



皆さんこんにちは、山中学校の平です。退職にあたり一言ご挨拶させていただきます。

私もようやく長い勤務を終えることになりました。

まずは、これまで出会った多くの方々へ感謝したいと思います。

特に、再任用・さらには臨時任用として頑張られていらっしゃる先輩方には、尊敬の念しかありません。深く感謝申し上げます。常日頃、困ったときだけ電話をし、何かと答えづらいことまでお尋ねした数々のご無礼を何卒ご容赦願いたいと思います。

36年間という長い事務職員生活の中には、こんな私でも「退職しようか?！」と悩んだ時期もありました。でも、どうやら無事に「退職の日」を迎えることができそうです。しかし、考えてみればこうして無事に退職の日を迎えられるのも、いつでもどんな時でも快く相談にのっていただいた先輩方のおかげなんだなあと心より感謝するばかりです。『本当に長い間いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。』

また、これまで経験した伊仙町・住用村・龍郷町・名瀬市・瀬戸内町・天城町・徳之島町で出会った多くの同僚・後輩のみなさんにも感謝しています。時代も変わり、瀬戸内町・天城町・徳之島町の三町では支援室長をさせていただきました。何かと至らない面も数多くあったかと思いますが、学校事務の業務改善のためにたくさんのご協力をいただきありがとうございました。特に天城町では病気のために2週間以上も入院しいろいろと手続きをお願いすることもありました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

さて、私が勤務した学校と言えば……()内は兼務校……糸木名小(馬根小)、住用小、赤徳小(赤徳中)、名瀬中、俵小(俵中・西阿室小・伊子茂小・伊子茂中)、・《休校のため》・俵中(西阿室小・伊子茂小・伊子茂中)、岡前小(与名間分校)、山中(山小・手々小・手々中)以上本務校8校・兼務校13校の計21校です。いつもいつも慌ただしい毎日だったように思います。

最後に、みなさんのこれからのご活躍とご健康・ご多幸を祈念して終わりにしたいと思います。

「本当に長い間お付き合いいただきありがとうございました。お世話になりました。」

徳之島町立山中学校・事務参事 平 弘 文





新規採用者の声

天城町立兼久小学校

川崎 龍太郎

こんにちは、この度新規採用で天城町立兼久小学校の事務職員を務めることになりました。川崎龍太郎です。はじめての社会人、はじめての離島生活ということで戸惑うこともあります。先輩方や同期のみなさんに助けをもらいながら毎日の仕事に取り組んでいます。兼久小学校は全校生徒50人の小さな学校です。子ども達と先生方の距離が近くみんな仲良く楽しくコミュニケーションを取っている印象です。僕自身も昼休みに子ども達と遊んだり子どもとコミュニケーションをとったりすることは仕事の合間の息抜きになっていたりします。今仕事を8ヶ月ほどしていますが学校の事務関係の仕事を一で行うのはとても責任の重い仕事だなと感じます。自分の仕事一つで学校運営がスムーズにいたり、はたまたま滞ってしまったりすることがありました。今は自分の仕事を覚えるので精一杯ですがゆくゆくは先生方が働きやすく、子ども達が快適に学べる学校づくりを目指して学校運営をして行けたらなと思います。これからよろしくお願ひします。



与論町立与論小学校

谷口 彰基

今年度、新規採用事務職員として与論町立与論小学校に赴任いたしました谷口彰基と申します。

与論という何も分からない土地に来て早くも8ヶ月が過ぎようとしています。年度当初の業務は何かから手を付けたらいいのかわからず、業務が山積みになっていたことを今でも覚えています。それらを乗り越えることができたのも他校の事務職員をはじめとした事務支援室による支えがあったことが一番の要因です。また、もう1つの要因として子供たちの存在が大きかったです。赴任した初めの頃は、学校に慣れることで精一杯で子供たちと遊びたくても遊べませんでした。しかし、子供たちの方から遊びに誘ってくれたのをきっかけに、今では毎日のように昼休みは校庭で遊んでいます。そして、大きなパワーをもらっています。さらに、職員間のコミュニケーションが非常にとりやすく、仕事のやりやすい環境で日々過ごしています。休みの日にはキャッチボールをしたり、海に連れて行ってもらったりするなど仕事だけでなく、私生活でも面倒を見てもらっています。

そんな子供たちや職員のためにも一日でも早く仕事を覚え、役に立てるよう精一杯努力していきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひいたします。



令和4年度の主な大事協活動内容

1. 大島地区小中事務職員協会研究事例発表

(発表) 天城町・徳之島町

(司会) 知名町・与論町

(記録) 伊仙町・和泊町

2. 令和4年度大事協だよりの計画(案)

6月(原稿) 和泊町・与論町 (編集) 宇検村

10月(原稿) 徳之島町・龍郷町 (編集) 瀬戸内町

12月(原稿) 奄美市笠利・西部 (編集) 大和村

2月(原稿) 伊仙町・天城町 (編集) 龍郷町

* 県 事 協 関 係

○令和4年8月10日 現状報告会 開催(予定)
大島地区参加枠10人程度

***令和5年度大島地区報告発表担当です。**

大島地区報告では、平成26年「伊仙町」・平成30年「奄美市」が行いました。大事協研究事例発表をしていただいた地区のレポートから選出となるかと思ひますので、ご協力をお願いします。

第15次・第16次県費事務改善検討委員となり活動していただいた古仁屋中学校の福村 茜先生ありがとうございました。

* 会 計 よ り お 願 い

1. 慶弔規定に関する請求が生じた場合は、早めに理事を通じて会計(大川小中 野田)にご連絡ください。
2. 年度末の慌ただし中大変ですが、会計処理が年度を超すことがないようにご協力ください。



今回、天城町が編集をしてくださいました。瀬戸内町・ご退職・新規採用の各先生方から原稿をいただきました。ありがとうございました。

今年度は、コロナ感染症対策で、大島地区の事務職員全員で顔を合わせて、意見交換や親睦を深める機会がありませんでしたが、「大事協だよりの」という形で情報発信にご協力いただき感謝しています。

春の訪れとともに、皆様に幸せが訪れますようお祈りいたしております。

大事協は「事務職員による事務職員の為の協会」です。次年度こそは、各地区の理事を中心に活発な活動ができるようになることを願っています。

